

其後何等カノ方法ニ依リ再起スヘク努力セルニ至ラズ資金補達
不能ニ陥リ全ク行詰リノ状態ニアリ從テ爭議ニ干レ何等ノ対
策ナシ

六労働者側

關東木材産業労働組合ノ志振ノ下ニ結束シ困メヨ、アルニ等
議資金乏シク積極的活動不能ナルハ勿論氣勢衰ニ揚ラス工場
主ハ全ク手當金支給ノ不能ヲ是認シ債権者出資者等ヲ個々ニ
訪問シ種々嘆願シヨ、アルニ等別級ノモノハ全部洋毛入爭議
ニ志振ニ居ル為メ何等進展
云交渉状況

前報級數回労働交渉セルカ何等得ル迄ナク本月十一日ノ交渉
ノ際工場主ヨリ全ク破産状態ニアリテ如何トモスル能ハス一
人ニ対シ金三十円宛月賦ニテ支給スベシト述ベタルカ職工等
ハ之レヲ一蹴ニ工場主私定ノ動産全部ヲ提供サレタリト強硬
ニ主張シ何等妥協カシク再會ヲ約セテ折加リタリ

5. 11. 4
1258

労働雑誌三九三七号
昭和五年十月三十一日

警視總監 丸山 鶴吉

内務大臣 安達謙藏 殿
社會局長 官

伊藤製線所労働爭議ニ関スル件 (解決)

要旨... 工場主ノ身代限リ提供金一千円也ヲ解雇手當トシ解決

標記労働爭議ハ其ノ後數回折衝シ工場主ハ家財道具身ノ廻リ品
等全部賣却シ一金一千也ヲ提供廿四日圓滿解決候條此段及申
(通) 報候也

覺書